

## 放送大学「生涯学習支援番組」(2019年度第4回制作)の制作業務仕様書

### 1. 業務概要

放送大学学園(以下、「学園」という。)のテレビ番組(以下、「番組」という。)の構成・演出・収録・編集等の制作業務を行う。

本番組は、2019年度に放送予定のテレビ生涯学習支援番組である。

請負事業者は、学園が示す企画方針および計画に基づき、学園プロデューサー等と連絡・協議を行いつつ連携をとり、番組制作業務を遂行する。

### 2. 請負期間

別紙1のとおり

### 3. 制作する番組・本数・概算所要経費

別紙1～3のとおり

### 4. 番組制作業務の具体的内容、手順

#### 1) 放送番組の演出

- ・出演講師、学園プロデューサー等と打合せによる内容原案を元に、演出方法及び内容を策定、実施

#### 2) 内容検討・番組進行表の作成

- ・番組全体の構成案(項目、配列、時間、配分)策定
- ・映像・音声素材等の選定(ビデオ・写真・コメント等)
- ・出演者との内容・スケジュールの交渉(講師・ゲスト等)
- ・ロケーション先の下見、選定

#### 3) ロケーション(国内)の実施と編集

- ・ロケーション(国内)に必要な要員の手配、機材の準備及びロケーションの実施
- ・出演者のヘアメイク及び衣装の手配
- ・ロケーション実施後の映像・音声の編集等、後処理
- ・広報用写真(著作権処理を要しないもの)の撮影及び素材納品

#### 4) 番組の素材資料の収集と作成

- ・動画・静止画・図版等の収集および作成。なお、資料の収集にあたっては学園が推奨する素材(AFP)を優先的に選択する。

#### 5) 請負事業者による「放送大学学園著作物利用規程」に基づく権利処理(音楽等一部を除く)処理にあたっては、以下の点に留意のこと。

- ・学園が定める承諾書出演者から受領すること。
- ・番組出演者にかかる出演料、交通費等は、請負事業者が負担すること。
- ・上記4)の素材資料の放送(マルチ編成含む)等利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理、並びに処理に伴う費用は請負事業者が負担すること。
- ・放送(衛星、CATV等による同時再放送を含む)・インターネット配信(学園のHP上での公開。ただし、ダイジェスト動画においては、ユーチューブ等外部HP上での公開にも対応のこと)
- ・学習センター等へのDVD配架等の番組の二次利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理
- ・権利処理及び利用した素材(音楽及び上記3)等に伴う出演者並びに上記4)含む)等の記録報告

6) 美術セットの調達と操作

- ・大道具・小道具、生花木の調達及び操作

7) タイトル、テロップ・パターンの制作等

- ・タイトル、テロップ・パターンのデザイン及び制作
- ・CG・アニメーションの作成及び操作

番組のダイジェスト動画の開始タイトル及び終了タイトルの表示方法は、別途学園プロデューサー等の指示に従うものとする。

8) 番組の試写

- ・学園プロデューサーによる完成前試写及び指示に応じた修正作業

9) 放送用台本の作成、印刷

- ・放送用台本の作成及び印刷

10) 音響効果

- ・番組に関わる選曲および効果音制作等

11) スタジオ収録及び収録時の副調整室指揮

- ・スタジオ収録に関わる各種伝票処理
- ・出演者・技術スタッフとの収録打合せ
- ・ドライ、カメラリハーサル
- ・学園プロデューサー等の検査後、ディスク等引渡し

12) 後処理、手直し等

- ・資料の整理
- ・伝票の整理
- ・番組制作に使用した素材テープ等の入庫整理
- ・納品後、番組の手直しについて、請負事業者の責めに帰すべき理由によるものは、請負代金に含むものとする。

13) 上記各項目の業務遂行のために必要な打合せ参加

5. 番組制作業務に必要と想定される職種及び人数

請負事業者は、学園プロデューサーと協議のうえ、当該業務を適切に遂行できるよう各業務内容に応じ必要な専門知識を有する者を手配するものとする。

6. 学園施設・機器等

- 1) 収録は学園のテレビスタジオを使用する。収録に係わる業務に必要な技術要員は、学園で措置する。
- 2) 完成素材収録用 XDCAM メディア、スタジオ収録用 XDCAM メディア、番組審査試写用 DVD-R、番組編成業務用 DVD-R は必要な数を貸与する。
- 3) 請負事業者が手配・調達するものは以下の通り。  
○収録及びロケ（要員および機材） ○オフライン編集 ○音響効果 ○スタジオ大道具・小道具、道具操作 ○メイク ○衣装(スタイリスト)
- 4) 上記に含まれないものについては双方で協議して決定する。

7. 記録媒体等

学園が使用する記録媒体は XDCAM メディアであり、記録媒体の学園外への持ち出し及び学園への持ち込みについては、全て XDCAM メディアで対応すること。

## 8. 学園への納入物品の取扱い

次の完成物を番組の種別ごとに記載された数量を別紙 1 に示す請負期間完了日までに納品し、学園職員による検査を受ける。なお、納入物品は学園技術フォーマットに準拠し、編集ソフトは登録時のエラーを回避するため「Adobe Premiere 2018」以外を使用すること（別添「テレビ制作技術基準」を参照）。

	生涯学習支援番組 (1番組あたり)	告知用動画 (1番組あたり)
放送用本番素材記録XDCAMメディア	1本	1本
クリーンピクチャー収録XDCAMメディア	1本	1本
番組考査試写用DVD-R	1本	1本
番組編成業務用DVD-R	1本	—
放送用台本及び電子データ	1部	1部

## 9. 番組制作業務完了等の報告

請負事業者は、番組完成後「番組制作業務完了報告書」、「著作権処理業務完了報告書」及び「楽曲使用報告書」を放送部放送管理課に提出し、学園職員による検査を受ける。

## 10. 請負代金の請求・支払

請負事業者は、8及び9の検査に合格したときは、請負代金を学園に請求する。  
学園は、適法な請求書受理後、40日以内に財務部経理課から支払うものとする。

## 11. 著作権の帰属等

- 1) 制作した番組に関する著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は学園に帰属する。
- 2) 番組は、学園の著作名義で公表する。  
なお、制作協力等の表示は、学園の基準によるものとする。
- 3) 学園は、番組等及び関連素材を必要により改変して使用することができる。
- 4) 上記各項目は、許諾を得た第三者の権利の帰属に影響を及ぼさない。

## 12. 業務内容の変更等

- 1) 本仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負事業者の責任において履行するものとする。
- 2) 予期することができない状態の発生など、業務内容を変更せざるを得ない場合には、学園と請負事業者が協議の上で、業務内容を変更することができる。
- 3) 業務内容が変更された場合には、請負代金についても協議の上、変更することができる。

## 13. 安全の確保

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、請負事業者の従業員を直接指揮命令する者（以下、「現場責任者」という。）を必要に応じて1名以上選任し、任務に当たらせるものとする。
- 2) 現場責任者は、業務の実施の過程における安全対策について、請負事業者の従業員およびその指揮下にある全てのスタッフの安全確保に十分取り組むとともに、徹底を図る。

#### 14 業務の再委託等

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、業務の全部について、一括して第三者に請負わせたり、一括して第三者に再委託してはならない。
- 2) 業務の一部を第三者に対して、請負わせたり、再委託する場合、請負事業者は、あらかじめ、所定の事項について、学園に申請した上で、承認を得なければならない。

## 別紙 1

## 制作する番組・本数・概算所要経費・請負期間

## 1. 生涯学習支援番組 2番組

No.	分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）	請負期間
1	BS キャンパス ex 特集	保育士試験準備講座：放送大学開設科目活用プラン [導入編] (45分×1本)	2年	2,000千円	契約締結日～令和2年2月28日
2	BS キャンパス ex 特集	大学入試はどう変わろうとしているのか（仮） (45分×4本分)	2年	10,000千円	契約締結日～令和2年3月31日

## 2. 告知用動画 2番組（1分版×全放送回分5本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1に含む

## 制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー  
制作部：船津貴弘

<p>1)番組タイトルなど 保育士試験準備講座：放送大学開設科目活用プラン</p>	<p>4)放送回数、期間、マルチ展開など 2020年4月以降複数回(2年20回)希望</p> <p>5) NET 展開 1分スポットを含む NET 展開を目指す</p>
<p>2)関係の深いコース 心理と教育コース、生活と福祉コース</p>	<p>6)番組尺、本数 45分 × 3本 導入編1本+対策編2本 ※今回は、[導入編]1本を制作</p>
<p>3)番組の領域 学問の興味を沸き立たせる領域・キャリアアップシリーズ</p>	<p>7)番組の種別 BS キャンパス ex 特集</p>
<p>8)内容等</p> <p>a. 目的・ねらい</p> <p>女性の就労に伴う保育必要とする層の増加に対し、対応する保育士は約 7.4 万人不足との推計がなされており(2017年厚生労働省)、保育士の確保は国としての喫緊の課題である。不足する保育士に対し、従来の専門学校、短大、大学における養成制度のみでは充足できない状況のため、現在、国は保育士確保のために、試験科目 8 科目と実技試験 2 分野からなる保育士試験を実施、合格者には保育士資格を授与している。</p> <p>保育士は、資格を取得すれば、専業主婦(夫)が育児経験を生かし再就職が可能な職種とされる。そのため、資格取得への潜在的ニーズは大きく、独学や通信講座などで試験合格を目指すものも多い。このような保育士の量的拡充に対し、一方で厚生労働省や日本保育学会では、子どもの人生を左右する幼児期の保育従事者の重要性に鑑み、大学レベルの学術的知識を有した質の高い保育士を確保したいという強い意向があり、厚生労働省社会保障審議会児童部会保育専門委員会委員をつとめた国立青少年教育振興機構理事長を介し、放送大学への協力要請があった。本番組は、この要請に応じ、放送大学の既存の開設科目を保育士試験出題科目内容と体系づけた学修モデルとして提示するとともに、本企画書として 231ch により、この学修モデルを紹介する保育士試験準備講座への導入編 1 本と対策編 2 本、合計 3 本の番組制作を企画する(この学修モデルは認証制度とは異なり、放送授業の科目履修のための学費以外に特別な費用は発生せず)。</p> <p>本番組の対象は、①再就職を想定し保育士の資格取得を目指す者、②育児に対する知識の獲得を希望する者、③放送大学で大学卒業資格を取得し就職を希望する者である。特に、家事・育児に従事する者の中には、保育や育児に関わる科目が放送大学での学習の最初の入口となる可能性があることから、放送大学の新しい学生層の開拓にも資するよう意図し制作する。</p> <p>学修モデル(学修モデル:231ch 3 本+放送大学開設科目+新規対応予定科目)の内訳は次のとおり。①231ch: 保育士試験と放送大学の既存科目の学習を結び付けた学習の導入編(1 本)と試験問題対策からなる対策編 2 本の合計 3 本制作(本提案)。試験問題対策資料は、公開されている過去の保育士試験問題を利用(管理団体である全国保育士養成協議会の許諾は不要)。②既存開設科目との対応:「保育原理」「教育原理」「保育の心理学」などの 8 科目のうち 6 科目は心理と教育コースの科目利用(「社会福祉」「児童社会福祉」などは一部「生活と福祉コース」の科目利用)。③該当科目がないもの:心理と教育コースで従来の科目制作のプロセスを経て 2023 年開設に向けて制作(「乳幼児の保育と教育(21)」が該当する場合は制作不要)。なお、放送大学で実施できない実技分野については、国立青少年教育振興機構が主体となって講習を実施(「保育実習理論」の開設は検討予定)。</p> <p>以上、231ch による本番組は、放送大学開設科目を活用した保育士試験準備のための学修モデルの全体像を示し、放送大学で提供している該当開設科目を科目履修生等で履修するプランの広報・宣伝のために制作する。</p>	



【参考】放送大学における該当科目（案）

出題科目	出題範囲	放送大学科目(案) ※対応開設科目について後日専門家と本 学開設科目の内容を精査し検討。	備考
保育原理	保育の意義 保育所保育指針における保育の基本 保育の目標と方法 保育の思想と歴史の変遷 保育の現状と課題	幼児教育の指導法（'15） 幼児理解の理論及び方法（'15） 乳幼児の保育と教育（'21）	
教育原理	教育の意義、目的及び児童福祉との関連性 教育の思想と歴史の変遷 教育の制度 教育の実践 生涯学習社会における教育の現状と課題	現代日本の教師（'15） 教育課程の意義及び編成の方法（'15） 学校と法（'16） 学校と社会を考える（'17） 生涯学習を考える（'17） 現代教育入門（'21）	
社会的養護	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷 社会的養護と児童家庭福祉 社会的養護の制度と実施体系 施設養護の実際 社会的養護の現状と課題	社会福祉と法（'16） 地域福祉の現状と課題（'18）	
児童家庭福祉	現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷 児童家庭福祉と保育 児童家庭福祉の制度と実施体系 児童家庭福祉の現状と課題 児童家庭福祉の動向と展望	少子社会の子ども家庭福祉（'15）	山縣文治（関西大学） ※保育士養成課程等検 討会メンバー
社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷 社会福祉と児童家庭福祉 社会福祉の制度と実施体系 社会福祉における相談援助 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み 社会福祉の動向と課題	社会福祉実践の理論と実際（'18） 社会福祉への招待（'16）	
保育の心理学	保育と心理学 子どもの発達理解 人との相互的にかかわりと子どもの発達 生涯発達と初期経験の重要性 子どもの発達と保育実践 生活や遊びを通じた学びの家庭 保育における発達援助	乳幼児心理学（'16） 乳幼児・児童の心理臨床（'17） 発達心理学（'17）	
子どもの保健	子どもの健康と保健の意義 子どもの発育・発達と保健 子どもの疾病と保育 子どもの精神保健 環境及び衛生管理並びに安全管理 健康及び安全の実施体制 保健活動の計画及び評価	新規（1単位：8回）を検討。	「乳幼児の保育と教育 （'21）」が該当する場合 は制作不要。
子どもの食と 栄養	子どもの健康と食生活の意義 栄養に関する基本的知識 子どもの発育・発達と食生活 食育の基本と内容 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	新規（1単位：8回）を検討。	「乳幼児の保育と教育 （'21）」が該当する場合 は制作不要。
保育実習理論		放送大学オンライン授業等の開設を検 討。	
保育実習実技		青少年教育振興機構で絵本読み聞かせな どの実技講座の開設で対応可能。	

参考：幼稚園教諭と特例制度科目：「幼児教育の指導法（'15）」（R2単位）、「学校と法（'16）」（R2単位）、  
「現代日本の教師（'15）」（R2単位）、「教育課程の意義及び編成の方法（'15）」（OL1単位）、「幼児理解の理論及び方法（'15）」（OL1単位）

## 制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター、プロダクション  
制作部・桑田

1)番組タイトルなど  大学入試はどう変わろうとしているのか(仮)	4)放送回数、期間、マルチ展開など 2年・20回  5) NET 展開 1分スポットを含む NET 展開
2)関係の深いコース 心理と教育	6)番組尺、本数 4月放送希望 45分×4本、1分間の告知用動画
3)番組の領域 学問への興味を沸き立たせる領域	7)番組の種別 BS キャンパス ex 特集
8)内容等 <b>a. 目的・ねらい</b> 近年、我が国では高大接続改革が急ピッチで進められており、社会からの関心も高い。高大接続改革は、いわゆる「学力の3要素」【①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を育成する高校教育、高校教育までに培った力を基に行われる大学教育、そしてこの二者をつなぐ大学入学者選抜、これらの一体的な改革をさすものである。本番組では、今日特に社会的関心の高い大学入学者選抜に焦点を当てながら、高大接続の歴史的社会的背景を解説するとともに学力の3要素を多面的・総合的に評価するための考え方と実際をわかりやすく紹介したい。 <b>b. 内容・構成</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1. 入試改革から高大接続改革へ</div> 現在の大学入試改革をめぐる状況を概観し、全4回の導入を行う。その後、大学入試の社会的意義と法的規定を確認したうえで、戦後日本の大学入試改革の歴史を辿り、今日の高大接続・大学入学者選抜改革の課題を整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2. 諸外国の大学入学者選抜</div> 諸外国でもまた、大学入学者選抜制度の改革が進んでいる。日本の高大接続問題を相対化してとらえるために、アメリカ、イギリス、フランス、韓国の各国における状況を紹介し、わが国への示唆を整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3. 多面的・総合的評価とはなにか</div> 高大接続において「学力の3要素」を多面的・総合的に評価することが最大の課題になっていることから、まず高校現場における探究学習とその評価実践を紹介した後、パフォーマンス評価やポートフォリオ評価と呼ばれる方法の基礎を解説する。加えて、障害のある受験者への合理的配慮や支援の基本的考え方と事例を紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4. 高大接続における多面的・総合的評価の実際</div> 新たな大学入試の実際例を紹介するために、まず一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜のあり方、調査書や面接等による多様な評価手法等を解説する。その後、東北大学と佐賀大学における多面的・総合的評価の事例を紹介する。最後に全4回のまとめを行う。 <b>c. 取材対象</b> ロケ取材：有  <b>d. 出演者など</b> 10名程度を想定 <b>9)主体性の確保</b> 本学の主体性を確保するため、企画の全般にわたり、専任教授が関わるものとする。 <b>10)制作予定期間</b> 2019年12月～2020年3月 <b>11)演出上の特記事項</b> 画像、動画等、資料 VTRなどを多用 <b>12)スポット制作希望(原則有り)</b> <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <b>14)字幕制作希望</b> <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

『大学入試はどう変わろうとしているのか（仮）』シラバス

1	入試改革から高大接続改革へ	<p>①はじめに： 高大接続・大学入学者選抜改革の今日的状況を簡単に紹介したうえで、4回の番組シリーズへの導入を行う。<b>【資料映像】</b></p> <p>②高大接続をみる2つの視点： 高大接続の歴史的社会的理解のために、一般教育と専門教育という異質な教育課程を「つなぐ」視点、および高校教育と大学教育を巡る質的・量的変動、すなわち「大衆化」の視点を説明する。</p> <p>③大学入学者選抜をめぐる法的規定： いくつかの準拠法に基づき、選抜の主体、大学入学者選抜実施要項などを紹介する。</p> <p>④戦後日本の大学入試改革： 高大接続の歴史的検討のために、戦後の大学入試改革史を振り返る。<b>【資料映像】</b></p> <p>⑤まとめ： 以上の解説を踏まえて、現行改革の意義と課題を整理する。<b>【講師鼎談】</b> <b>【キーワード】</b> 接続、大学の大衆化、学校教育法、大学入学者選抜実施要項、大学入試制度改革、高大接続改革政策</p>	3名の出演者を想定
2	諸外国の大学入学者選抜	<p>①はじめに： 高大接続・大学入学者選抜における国際比較の意義とそのための視点を紹介する。</p> <p>②アメリカの教育制度と大学入学者選抜 <b>【以下、適宜資料映像】</b></p> <p>③イギリスの教育制度と大学入学者選抜</p> <p>④フランスの教育制度と大学入学者選抜</p> <p>⑤韓国の教育制度と大学入学者選抜</p> <p>⑥まとめ： 制度面の対照表を示し、日本の現行改革への示唆を整理する。 <b>【キーワード】</b> アメリカの高大接続、シックス・フォーム、GCE Aレベル、リセ、バカロレア、修能試験、入学査定官</p>	3名の出演者を想定
3	多面的・総合的評価とはなにか	<p>①はじめに： 現行改革でのキーワードの一つである多面的・総合的評価の定義といくつかの簡単な例を紹介する。</p> <p>②高校教育における多面的・総合的評価： 大学入試での評価のあり方を考える前提として、今日の高校での学習活動や評価方法を理解しておくために、平均的な普通高校での実践を紹介する。<b>【ロケ画像】</b></p> <p>③学習活動の評価方法： 探究学習ほか様々な活動を長期的に記録し評価する方法など、より実際に即した学習評価の試みを解説する。</p> <p>④障害のある受験者への合理的配慮： 大学入試のユニバーサルデザイン化も大きな課題であることから、合理的配慮や支援の基本的考え方と実例を紹介する。</p> <p>⑤まとめ： 多義的な意味合いのある多面的・総合的評価について、その意義と課題を整理する。 <b>【キーワード】</b> 多面的・総合的評価、学力の3要素、探究学習、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価、合理的配慮、アコモデーション、アシスティブ・テクノロジー</p>	3名の出演者を想定

4	<p>高大接続における多面的・総合的評価の実際</p>	<p>①はじめに： 新たな大学入学者選抜制度の全体像を示し、旧制度からの変更点に注意を喚起する。</p> <p>②おもな選抜形態： 一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜、およびその他の選抜形態について説明する。</p> <p>③多様な評価手法： 調査書やポートフォリオ、面接、小論文、集団討論等のさまざまな評価手法を紹介する。</p> <p>④東北大学の多面的・総合的評価の事例 <b>【ロケ画像】</b></p> <p>⑤佐賀大学の多面的・総合的評価の事例 <b>【ロケ画像】</b></p> <p>⑥まとめ： 全4回の番組内容を振り返り、重要なポイントを再掲し、今後注意すべき展開や考えるべき点を整理する。</p> <p><b>【キーワード】</b>          一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、調査書、ポートフォリオ、入学前教育、初年次教育</p>	<p>3名の出演者を想定</p>
---	-----------------------------	---	------------------

# テレビ制作技術基準

別添

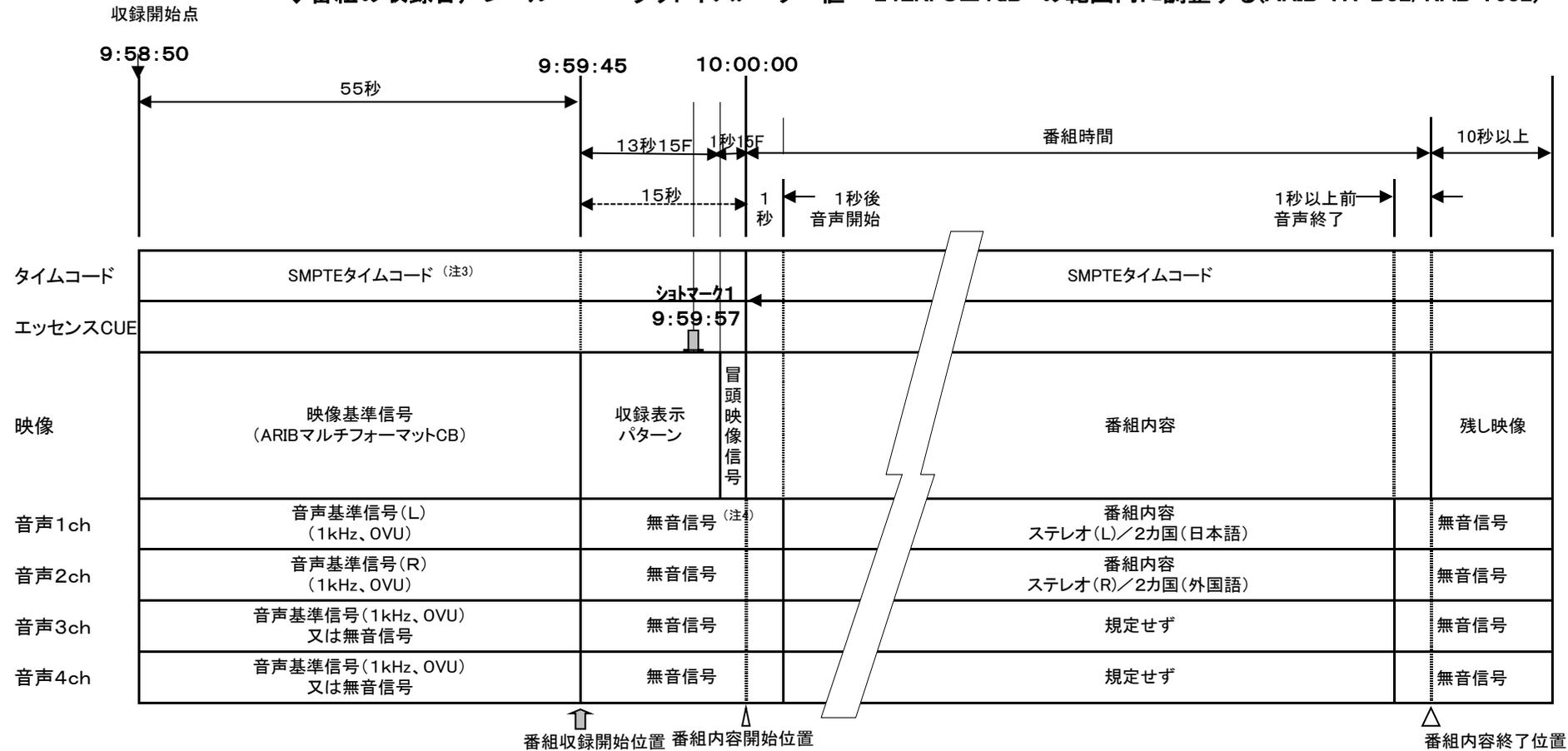
## XDCAM-HDディスク放送用収録フォーマット

平成31年4月1日

◇映像:MPEG2 422P@50Mbps ◇音声:LPCM 48kHz 24bit 8ch ステレオ

◇MXFオペレーションパターン OP1a

◇番組の収録音声レベル ・ラウドネスメーター値 -24LKFS±1dB の範囲内に調整する(ARIB TR-B32/NAB T032)



\* 予備SB(ステーションブレイク)は、1枚のディスクに複数本収録するが、それぞれが独立したファイルに1クリップで基準フォーマット収録する。

\* 送出サーバー登録時、09:59:58:00からファイリングするため表示パターンを09:59:58:15まで記録する。

\* 送出サーバー登録時の頭出し用「ショットマーク1」を09:59:57:00に記録する。

- 注1: ARIBマルチフォーマットカラーバーは「ARIB STD-B28」に準拠すること。
- 2: 音声基準信号は、OVU=基準量子化値(フルビットから20dB下がった値 -20dBFS)とする。
- 3: タイムコードトラックには、収録開始位置から連続したSMPTEタイムコードを記録すること。
- 4: 無音信号とは入力信号を絞りきった(無音の)音声信号が記録された状態をいう。
- 5: 番組試写終了後、TDまたは担当者がラウドネスメーター値を番組収録連絡票に記入すること。
- 6: デジタル音声のプリアンファシスは使用しないこと。
- 7: ディスクごとに「ワンクリップ」収録とすること。
- 8: 末尾のフィラー音楽開始については、1秒以上音声の空白を挿入すること。